

セメント系無収縮材

太平洋

# U-ロック<sup>®</sup>シリーズ

U-LOX

PRE U-LOX

PRE U-LOX M

PRE U-LOX SUPER

PRE U-LOX PAD

U-LOX CEMENT

PRE U-LOX M-S

PRE U-LOX HW



# ユーロックスとは

太平洋ユーロックス・シリーズは太平洋セメント(株)が世界に先駆けて開発した、石灰系(酸化カルシウム系)コンクリート用膨張材「太平洋エキスパン」をキーマテリアルとして使用した、セメント系無収縮材です。

使用時にセメント、骨材、水を配合する「混和材タイプ」、水で練混ぜるだけで簡単に使える「プレミックタイプ」があり、橋梁支笮、機械基礎、耐震補強、アンカースリーブ、各種コンクリート接合部等、無収縮性を要求される様々なシーンにおいて、無収縮グラウトモルタル、無収縮スラリーとしてその優れた効果を発揮します。



(社)公共建築協会(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」において無収縮モルタルとして求められる品質・性能を満足すると評価されました。(太平洋ユーロックス、太平洋プレユーロックス、太平洋プレユーロックスM)





製品名	荷姿	タイプ	区分	用途例
太平洋 ユーロックス	 20kg/箱及び20kg/袋	混和材	混和材型	<ul style="list-style-type: none"> <li>●逆打ち</li> <li>●機械基礎</li> <li>●鉄骨ベース 他</li> </ul>
太平洋 プレユーロックス	 25kg/袋	プレミックス	一般汎用型	<ul style="list-style-type: none"> <li>●橋梁支承</li> <li>●機械基礎</li> <li>●鉄骨ベース</li> <li>●アンカースリーブ</li> <li>●耐震補強 他</li> </ul>
太平洋 プレユーロックスM	 25kg/袋	プレミックス	低発熱型	<ul style="list-style-type: none"> <li>●橋梁支承</li> <li>●機械基礎</li> <li>●鉄骨ベース</li> <li>●アンカースリーブ</li> <li>●耐震補強 他</li> </ul>
太平洋 プレユーロックス スーパー	 [常温用] 25kg/袋 [低温用]	プレミックス	超速硬型	<ul style="list-style-type: none"> <li>●緊急工事</li> <li>●寒冷地工事</li> <li>●橋梁支承</li> <li>●機械基礎</li> <li>●その他速硬性を求められる箇所 他</li> </ul>
太平洋 プレユーロックス パッド	 25kg/袋	プレミックス	硬練り型 (パッド用)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●鉄骨ベース</li> <li>●機械据付用パッド</li> <li>●その他非流動性を求められる箇所 他</li> </ul>
太平洋 ユーロックス セメント	 20kg/袋	プレミックス	スラリー型	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各種小間隙部充てん</li> <li>●アンカースリーブ</li> <li>●裏込めグラウト 他</li> </ul>
太平洋 プレユーロックス M-S	 25kg/袋	プレミックス	高強度型	<ul style="list-style-type: none"> <li>●高層建築</li> <li>●高強度プレキャストの接合</li> <li>●橋梁支承 他</li> </ul>
太平洋 プレユーロックス HW	 25kg/袋	プレミックス	重量モルタル	<ul style="list-style-type: none"> <li>●原子力施設の遮蔽</li> <li>●大型部材基礎 他</li> </ul>

# 太平洋 1-ロック

太平洋ユーロックスは石灰系膨張材「太平洋エクспан」を基材として開発したセメント系高性能無収縮混和材です。現場でポルトランドセメント、細骨材、水と混合することで優れた性状・特性の無収縮モルタルが得られます。



## 特長

1	混和材タイプ	現場でポルトランドセメント、細骨材、所定量水と練混ぜるだけで無収縮モルタルを得ることが可能なため経済的です。
2	高流動性	普通モルタルに比べ、はるかに優れた流動性を発揮しますので、間隙をスムーズに充てんすることができ、作業性・成型性に優れます。
3	ノンブリーディング	充てん後のブリーディングが発生しないため、硬化後の空隙処理が不要です。
4	無収縮性	適量配合した石灰系膨張材の作用により、拘束条件下で無収縮性が期待できます。このため充てん後に部材との一体化性が確実・強固に実現されます。
5	ノンメタリック	セメント系のため、発錆による施工面の変色等が生じず、長期的な安定性に優れます。
6	高強度発現	初期から長期にわたり安定した強度発現性が得られます。また、普通モルタルに比べ高い強度が期待できます。
7	耐熱性・耐海水性	石灰系膨張材の水和生成物は安定しており、優れた耐熱性・耐海水性を示し、比較的高温雰囲気となる箇所や海岸等の特殊構造物への施工が可能です。

## 標準調(配合)

区分	目標コンシステンシー	W/C+UL (%)	現場計量 (kg)				練上り量 (ℓ)	単位量 (kg/m <sup>3</sup> )				練上り量 (ℓ)
			C	W	S	UL		C	W	S	UL	
1/1.0モルタル	J <sub>14</sub> ロート流下値 = 5~11秒	34	25(1袋)	9.3	27.5	2.3	約29	862	318	942	80	1,000
1/1.5モルタル	または、	37	25(1袋)	10.2	41.5	2.7	約35	699	286	1,161	75	1,000
1/2.0モルタル	フロー値 = 200~280mm程度	40	25(1袋)	11.2	56.0	3.0	約42	588	263	1,316	70	1,000
1/0ペースト	J <sub>14</sub> ロート流下値 = 3~7秒程度	33	25(1袋)	8.8	—	1.7	約17	1,417	499	—	95	1,000

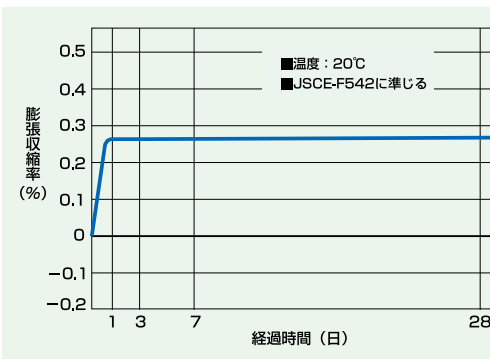
注1) 表中のC=普通ポルトランドセメント(密度:3.16g/cm<sup>3</sup>)、W=練混ぜ水、S=細骨材(表乾密度:2.60g/cm<sup>3</sup>、粗粒率:2.70) 注2) 表中のフロー値は、JIS R 5201に規定されるモルタルフローコーンを使用し、コーン引抜き後の広がりを測定。注3) 使用温度範囲は原則的に10~35℃として下さい。注4) 使用するセメントは普通または早強ポルトランドセメントとし、高炉およびフライアッシュセメント等は用いないで下さい。なお、早強ポルトランドセメント使用の場合、普通ポルトランドセメント使用の場合に比べ、同一コンシステンシーを得るためのW/C+ULが約2%増加する傾向にあります。注5) 外気温度、材料温度、使用細骨材等により配(調)合は変動しますので、事前に試験練りを行い確認して下さい。注6) 使用細骨材の性質によっては、コンシステンシーをJ<sub>14</sub>ロート流下値で管理し難い場合がありますので、その際はフロー値での管理を行って下さい。注7) 表中の区分以外に使用する場合は、弊社までご相談下さい。

## 特性例

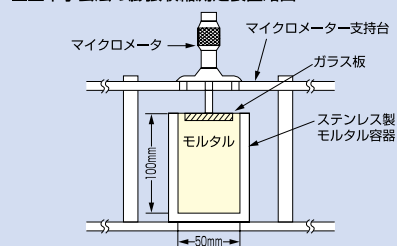
区分 C+UL/S	W/C+UL (%)	流下時間 (秒)	ブリーディング率 (%)	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )			
				1日	3日	7日	28日
1/1.0モルタル	34	7.5	0.0	12.1	36.9	45.3	62.3
1/1.5モルタル	37	8.1	0.0	7.7	30.2	40.2	53.1
1/2.0モルタル	40	9.2	0.0	6.4	28.8	36.2	51.7
1/0ペースト	33	4.0	0.0	20.3	43.1	56.8	67.7

■試験条件: 20℃、85%R.H  
 ■試験方法  
 流下時間: JSCE-F541に準ずる (J<sub>14</sub>ロート使用)  
 ブリーディング率: JIS A 1123に準ずる  
 圧縮強度: JIS A 1108に準ずる (20℃水中養生)

## 膨張収縮率の経時変化



■土木学会法の膨張収縮測定装置略図



測定装置にモルタルを充たし、ただちに表面仕上げを行い、モルタル容器上端を零点として測定。

# 太平洋 プレューロックス®

太平洋プレューロックスは石灰系膨張材「太平洋エクспан」を基材として開発したセメント系高性能無収縮モルタルです。太平洋プレューロックスは充分吟味された細骨材と結合材（セメント+特殊混和材）を1:1重量比で混合したプレミックスタイプの製品です。使用時には水を加えるだけで優れた性状・特性の無収縮モルタルが得られます。



## 特長

1	プレミックス	プレミックスタイプのため、いつも均一な品質・性能が得られます。現場で所定水量と練混ぜるだけで高品質な無収縮モルタルが得られます。
2	高流動性	普通モルタルに比べ、はるかに優れた流動性を発揮しますので、間隙をスムーズに充てんすることができ、作業性・成型性に優れます。
3	ノンブリーディング	充てん後のブリーディングが発生しないため、硬化後の空隙処理が不要です。
4	無収縮性	適量配合した石灰系膨張材の作用により、拘束条件下で無収縮性が期待できます。このため充てん後に部材との一体化が確実・強固に実現されます。
5	ノンメタリック	セメント系のため発錆による施工面の変色等が生じず、長期的な安定性に優れています。
6	早強性・高強度	初期強度が高く早強性を有するとともに、長期的にも安定した強度発現性が得られます。
7	耐熱性・耐海水性	石灰系膨張材の水和生成物は安定しており、優れた耐熱性・耐海水性を示し、比較的高温雰囲気となる箇所や海岸等の特殊構造物への施工が可能です。

## 標準調(配合)

区分	使用温度範囲(°C)	目標コンシステンシー J14ロート流下値(秒)	太平洋プレューロックス (Kg)	練混ぜ水量(Kg)	練上り量(ℓ)
単体量(kg/m³)	5~35	8±2	1,875	338	1000
現場配合(1袋)			25(1袋)	4.50	約13

注1) 1m³あたりの太平洋プレューロックスの必要量は約75袋です。

注2) 外気温度、材料温度等により目標とするコンシステンシーを得るための水量が若干増減しますので、事前に試験練りを行い、水量の確認を行って下さい。

## 特性例

太平洋 プレューロックス (kg)	養生温度 (°C)	練混ぜ水量 (kg)	流下時間 (秒)	ブリーディング率 (%)	圧縮強度(N/mm²)				静弾性係数 (×10⁴N/mm²)	塩化物イオン量 (kg/m³)
					1日	3日	7日	28日		
25(袋)	5	4.80	7.3	0.0	4.2	30.1	38.7	50.5	—	—
	20	4.50	7.5	0.0	29.3	42.4	50.3	67.5	2.95	0.13
	30	4.40	7.2	0.0	34.1	46.3	54.7	71.3	—	—

■備考(気温、練混ぜ水温、材料温度等の影響により練混ぜ水量は若干変動します)

流下時間 :JSCE-F 541に準ずる(J14ロートによる)

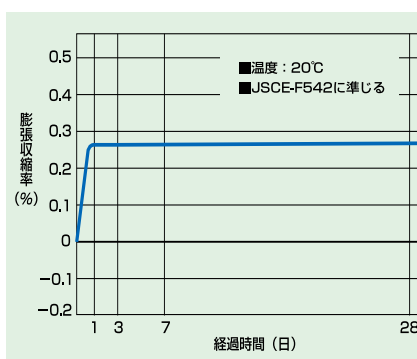
ブリーディング率 :JIS A 1123に準ずる

圧縮強度 :JIS A 1108に準ずる

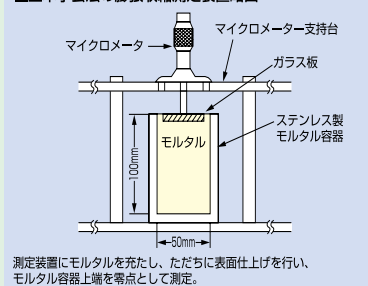
静弾性係数 :JSCE-G502に準ずる(割線弾性係数:28日データ)

塩化物イオン量 :JASS 5T-502に準ずる

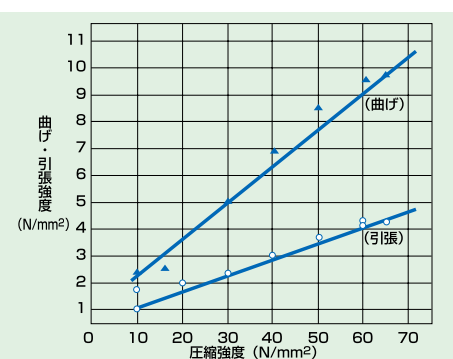
## 膨張収縮率の経時変化



■土木学会法の膨張収縮測定装置略図



## 圧縮強度と曲げ・引張(割裂)および付着強度(鉄筋引抜き)との関係



セメント系無収縮モルタル（低発熱型）

# 太平洋 プレューロックス M

太平洋プレューロックスMは、部材厚さが比較的厚い箇所や施工容量の大きめの箇所に適用するため開発された低発熱型の無収縮モルタルです。水和に伴う温度上昇が低いため、温度応力を軽減できます。



## 特長

- |   |        |   |
|---|--------|---|
| 1 | 低発熱性   | 汎用型の無収縮モルタルに比べ、水和に伴う温度上昇が低いため、比較的部材の大きな箇所にも使用できます。            |
| 2 | プレミックス | プレミックスタイプのため、いつも均一な品質が得られます。現場では所定水量と練混ぜるだけです。                |
| 3 | 高流動性   | 普通モルタルに比べ、はるかに優れた流動性を発揮しますので、間隙をスムーズに充てんすることができ、作業性・成型性に優れます。 |
| 4 | 無収縮性   | ノンブリーディングであり、且つ適量配合された石灰系膨張材の作用により、無収縮性が発揮されます。               |
| 5 | 強度発現性  | 低発熱型にもかかわらず、短期から長期にわたり十分な強度を発現します。                            |

## 標準調（配合）

区分	使用温度範囲(℃)	目標コンシステンシー J14ロート流下値(秒)	太平洋プレューロックスM (Kg)	練混ぜ水量(Kg)	練上り量(ℓ)
単体量(kg/m <sup>3</sup> )	5~35	8±2	1,925	281	1000
現場配合(1袋)			25(1袋)	3.65	約13

注1) 1m<sup>3</sup>あたりの太平洋プレューロックスMの必要量は約77袋です。

注2) 外気温度、材料温度等により目標とするコンシステンシーを得るための水量が若干増減しますので、事前に試験練りを行い、水量の確認を行って下さい。

## 特性例

太平洋プレューロックスM (kg)	養生温度 (℃)	水量 (kg)	流下時間 (秒)	ブリーディング率 (%)	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )				静弾性係数 (×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> )	鉄筋付着強度 (N/mm <sup>2</sup> )
					1日	3日	7日	28日		
25	5	3.75	7.3	0.0	3.1	26.3	32.2	47.3	—	—
	20	3.65	7.0	0.0	17.2	35.2	46.1	61.3	2.70	3.60
	30	3.60	6.8	0.0	24.0	39.0	50.4	62.1	—	—

■備考(気温、練混ぜ水温、材料温度等の影響により練混ぜ水量は若干変動します)

流下時間 :JSCE-F 541に準ずる(J14ロートによる)

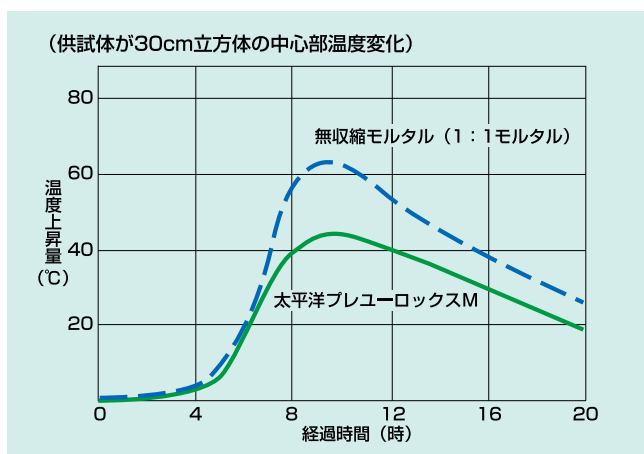
ブリーディング率 :JIS A 1123に準ずる

圧縮強度 :JIS A 1108に準ずる

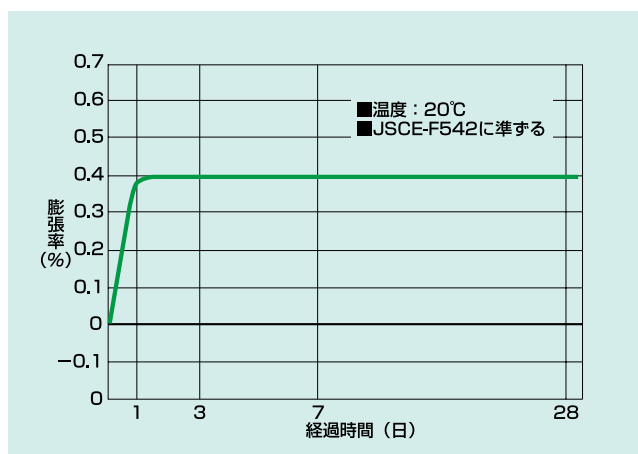
静弾性係数 :JSCE-G502に準ずる(割線弾性係数:28日データ)

鉄筋付着強度 :JSCE-G503に準ずる(φ19mm丸鋼の引抜き:28日データ)

## モルタル温度上昇の経時変化



## 膨張収縮率の経時変化





# 太平洋 プレミックススーパー

太平洋プレミックススーパーは、セメント系無機質・速硬性特殊混和材、充分吟味された細骨材とを1:1重量比で混合したプレミックスタイプの「超速硬型」無収縮モルタルです。

緊急性を要する各種工事、寒冷期の工事、短時間強度が必要な工事等に適しています。

## 特長

<b>1</b>	<b>プレミックス</b>	プレミックスタイプのため、現場で所定水量と練混ぜるだけで「超速硬型」無収縮モルタルが得られます。	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>【常温用】 (使用温度範囲の 目安15~30℃)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>【低温用】 (使用温度範囲の 目安5~20℃)</p>  </div> </div>
<b>2</b>	<b>超速硬・高強度</b>	超速硬型であるため短時間で高い強度を発現し、長期的にも安定した強度発現が達成されます。	
<b>3</b>	<b>高流動性</b>	普通モルタルに比べ、はるかに優れた流動性を発揮しますので、間隙をスムーズに充てんすることができ、作業性・成型性に優れます。	
<b>4</b>	<b>ノンブリーディング・無収縮性</b>	充てん後のブリーディングが発生しないため、硬化後の空隙処理が不要です。また、適量配合した石灰系膨張材の作用により、拘束条件下で無収縮性が期待できます。このため充てん後に部材との一体化が確実・強固に実現されます。	
<b>5</b>	<b>超速硬コンクリート</b>	「太平洋プレミックススーパー」は通常グラウトモルタルとして使用しますが、現場で粗骨材（砂利・碎石等）を適量混合することで、超速硬コンクリートとして使用することも可能です。これにより、単位容積あたりのコスト低減、温度ひび割れの抑制等に寄与することが出来ます。	

## 標準調（配）合

区分	目標コンシステンシー J14ロート流下値（秒）	太平洋プレミックススーパー（Kg）	練混ぜ水量 （Kg）	練上り量 （ℓ）
単位量（kg/m <sup>3</sup> ）	8±2	1,925	339	1000
1袋あたり		25（1袋）	4.40	約13

注1）1m<sup>3</sup>あたりの太平洋プレミックススーパーの必要量は約77袋です。

注2）外気温、材料温度により目標とするコンシステンシーを得るための水量が若干増減しますので、事前に試験練りを行い適正水量の確認を行って下さい。

## 特性例

太平洋プレミックススーパー （kg）	養生温度 （℃）	練混ぜ水量 （kg）	流下時間 （秒）	ブリーディング率 （%）	凝結時間（h-min）		塩化物イオン量 （kg/m <sup>3</sup> ）	
					始発	終結		
25（1袋）	低温用	5	4.60	8.3	0.0	0-30	0-37	0.10
		10	4.50	8.1	0.0	0-28	0-35	
	常温用	20	4.40	7.2	0.0	0-25	0-30	
		30	4.30	7.5	0.0	0-10	0-12	

太平洋プレミックススーパー （kg）	養生温度 （℃）	練混ぜ水量 （kg）	圧縮強度（N/mm <sup>2</sup> ）						
			1時間	3時間	1日	3日	7日	28日	
25（1袋）	低温用	5	4.60	5.7	14.9	31.0	37.4	44.2	50.3
		10	4.50	10.3	18.2	32.2	41.4	46.1	54.2
	常温用	20	4.40	11.5	20.4	35.9	43.7	52.7	62.4
		30	4.30	12.8	22.9	40.1	46.6	56.8	63.0

■備考（気温、練混ぜ水温、材料温度等の影響により練混ぜ水量は若干変動します）

流下時間 : JSCE-F5411に準ずる（J14ロート使用）

ブリーディング率 : JIS A 1123に準ずる

凝結時間 : JIS A 1147に準ずる

塩化物イオン量 : JASS 5T-502に準ずる

圧縮強度 : JIS A 1108に準ずる



セメント系無収縮モルタル（硬練りパッド用）

# 太平洋 プレミックスパッド

太平洋プレミックス・パッドは、機械設備、鉄骨柱など高精度の据付工事に対応するため開発されたパッド用セメント系無収縮モルタルであり、厳選された細骨材とセメントおよび特殊混和材をあらかじめ混合したプレミックス製品です。



## 特長

- 1 **プレミックス**      プレミックスタイプのため、現場で煩雑な計量作業を必要としません。
- 2 **成型・施工性**      パッド等の成型、非流動性を求められる箇所への施工性に優れます。
- 3 **早強性・高強度**      短期から長期にわたり、安定して高強度が得られます。
- 4 **無収縮性**      硬化後の沈下がなく、高精度の据付工事に適用します。
- 5 **ノンメタリック**      セメント系のため発錆による施工面の変色等が生じず、長期的な安定性に優れています。

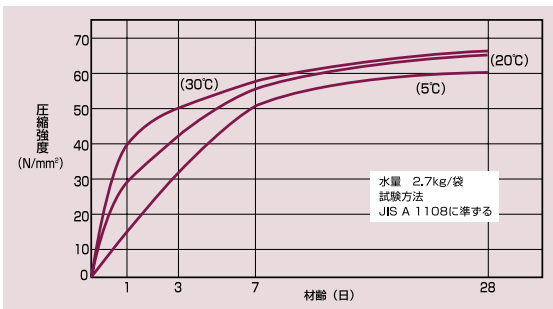
## 標準調(配合)

区分	使用温度範囲 (°C)	太平洋プレミックスパッド (kg)	練混ぜ水量 (kg)	練上り量 (ℓ)
単位量 (kg/m <sup>3</sup> )	5~35	2,075	224	1,000
1袋あたり		25 (1袋)	2.7	約12

注1) 1m<sup>3</sup>あたりの太平洋プレミックスパッドの必要量は約83袋(2,075kg)です。

注2) 練混ぜ水量は、1袋あたり約2.4~3.0kgを目安として下さい。モルタルを手で握り、手を開いたときに形状を保ちくずれない程度の硬さが適当です。

## 材齢と圧縮強度の関係



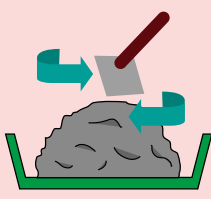
## パッドモルタルの作り方

### 1 練混ぜ方法-1



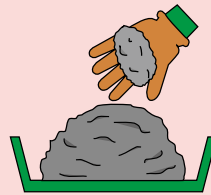
- 練り板の上に太平洋プレミックスパッドを袋単位で広げてください。
- 所定量の水を徐々に加えてよく練混ぜてください。

### 2 練混ぜ方法-2



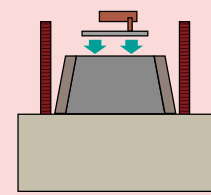
- モルタルにかたまりがある場合にはよくほぐしてください。
- 1回の練混ぜ量は20分以内に使用してください。

### 3 練上がりモルタルの状態



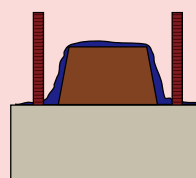
- モルタルを手で握り、手を開いたとききれいな状態を保ちくずれない程度の硬さが適当です。

### 4 パッド施工



- ベースコンクリート面の異物、レイタンス層を取り除き水湿しを充分行ってください。
- パッド施工の方法については、現場責任者とよく打ち合わせてください。

### 5 養生



- 水分の蒸発を防ぐため表面を湿布などでおおってください。





無収縮セメント（スラリー型）

# 太平洋 ユーロックスセメント

太平洋ユーロックスセメントは、石灰系膨張材を基材とした無収縮性混和材に厳選されたセメントを配合した高性能無収縮セメント（スラリータイプ）です。高い流動性を有するため、小間隙へのスムーズな注入施工が可能です。また、現場で細骨材と混合することで、無収縮モルタルとしても使用できます。



## 特長

- 1 プレミックス** 無収縮性混和材とセメントがプレミックスされているため、現場で複雑な計量作業を必要としません。
- 2 高流動性・小間隙充填** 高い流動性を有するため、数mm～数cm（目安：3～30mm程度）の狭い間隙への充てんが可能です。
- 3 無収縮性** 無収縮性を有するため、充てん後の部材一体化がはかれます。
- 4 強度特性** 短期から長期にわたり安定した強度特性を示します。
- 5 モルタル使用可能** 無収縮セメントスラリー以外にも現場で細骨材を混合することで、無収縮モルタルとしても使用可能です。

## 標準配（調）合

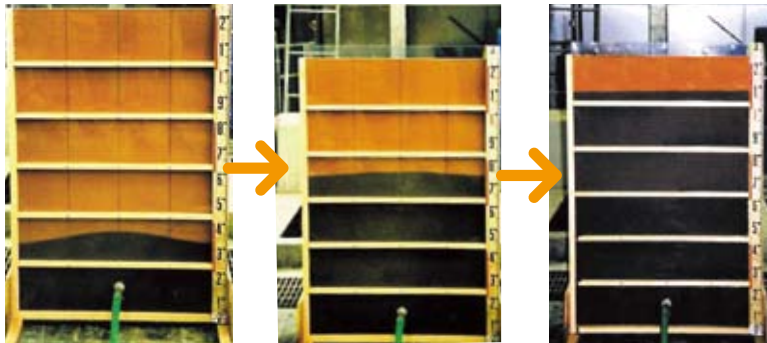
区分	使用温度範囲（℃）	目標コンシステンシー J <sub>14</sub> ロート流下値（秒）	太平洋ユーロックス セメント（Kg）	練混ぜ水量（Kg）	練上り量（ℓ）
単位量（kg/m <sup>3</sup> ）	5～35	4～8	1,544	494	1000
現場配合（1袋）			20（1袋）	6.4	約13

注1) 1m<sup>3</sup>あたりの太平洋ユーロックスセメントの必要量は約77袋です。

注2) 外気温、材料温度等により目標とする流動性を得るための水量が若干増減しますので、事前に試験練りを行い、水量の確認を行って下さい。

## 注入試験状況

右の写真は模擬試験体（クリアランス＝5mm）への注入試験状況です。太平洋ユーロックスセメントは流動性が高く、注入クリアランスが非常に狭い間隙へもスムーズに充填できます。



## 特性例

太平洋 ユーロックスセメント （kg）	養生温度 （℃）	練混ぜ 水量 （kg）	流下 時間 （秒）	ブリーディング率 （％）	膨張収縮率 （％）	塩化物イオン量 （kg/m <sup>3</sup> ）	圧縮強度（N/mm <sup>2</sup> ）				静弾性係数 （×10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> ）	
							1日	3日	7日	28日	7日	28日
20（1袋）	5	6.7	4.7	0.0	+0.35	—	7.1	25.2	46.3	53.8	—	—
	20	6.4	4.8	0.0	+0.85	0.08	29.6	45.1	56.5	65.4	1.70	1.90
	30	6.2	5.1	0.0	+0.83	—	37.4	48.9	58.1	67.0	—	—

■備考（気温、練混ぜ水温、材料温度等の影響により水量は若干変動します）

流下時間 : JSCE-F541 に準ずる（J<sub>14</sub>ロートによる）

ブリーディング率 : JIS A1123 に準ずる

膨張収縮率 : JSCE-F542 に準ずる（7日データ）

塩化物イオン量 : JASS 5T-502 に準ずる

圧縮強度 : JIS A1108 に準ずる

静弾性係数 : JSCE-G502 に準ずる

# 太平洋 プレーロックS M-S

太平洋プレーロックS M-Sは、当社のスタンダードグレードであるプレーロックの強度発現性を著しく向上させた画期的な高強度タイプの無収縮モルタルです。設計基準強度が高い部材の接合等に適します。



## 特長

- 1 高強度発現** 短期から長期にわたり、従来の無収縮モルタルに比べ、きわめて高い強度発現性を示します。
- 2 プレミックス** プレミックスタイプのため、いつも均一な品質が得られます。現場では所定水量と練混ぜるだけです。
- 3 無収縮性** 形状拘束された中で良好な無収縮性を発揮します。また、材料分離を起こさないためブリーディングが発生せず、硬化後に接合部との空隙発生がありません。
- 4 低発熱性** 従来の無収縮モルタルと比較して、水和に伴う温度上昇が抑えられます。

## 標準調（配）合

区分	使用温度範囲(°C)	目標コンシステンシー J14ロート流下値(秒)	太平洋プレーロックS M-S (Kg)	練混ぜ水量(Kg)	練上り量(ℓ)
単体量(kg/m³)	10~35	8±2	2000	264	1000
現場配合(1袋)			25(1袋)	3.30	約12.5

注1) 1m³あたりの太平洋プレーロックS M-Sの必要量は約80袋です。

注2) 外気温度、材料温度等により目標とする流動性を得るための水量が若干増減しますので、事前に試験練りを行い、水量の確認を行って下さい。

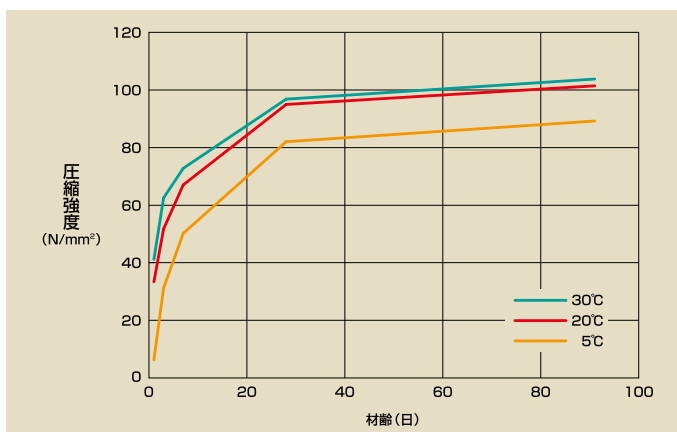
## 特性例

太平洋プレーロックS M-S (kg)	養生温度 (°C)	練混ぜ水量 (kg)	流下時間 (秒)	圧縮強度(N/mm²)					塩化物イオン量 (kg/m³)
				1日	3日	7日	28日	91日	
25(1袋)	5	3.4	7.5	6.3	31.2	50.2	82.0	89.2	0.08
	20	3.3	7.3	33.4	51.7	67.0	95.0	101.4	
	30	3.2	7.0	41.2	62.5	72.8	96.8	103.8	

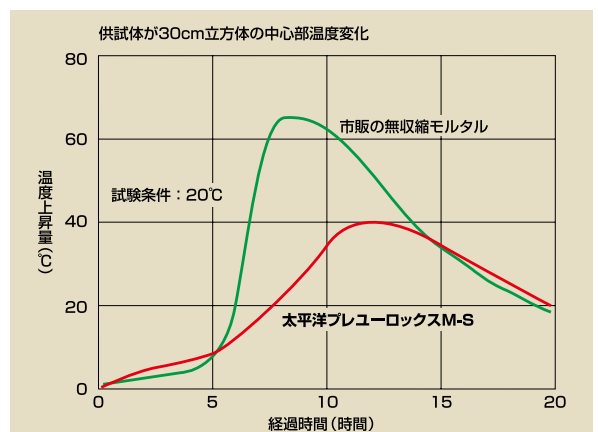
養生温度 (°C)	静弾性係数(N/mm²)		
	7日	28日	91日
20	3.36×10⁴	3.57×10⁴	3.62×10⁴

■備考（気温、練混ぜ水温、材料温度等の影響により練混ぜ水量は若干変動します）  
 流下時間：JSCE-F 541に準ずる。（J14ロートによる）  
 圧縮強度：JIS A 1108に準ずる。  
 塩化物イオン量：JASS 5T-502に準ずる。  
 静弾性係数：JSCE-G 502に準ずる。（割線弾性係数）

## 材齢と圧縮強度の関係



## 簡易断熱温度上昇量



# 太平洋 ブルーロックス<sup>®</sup> HW

太平洋ブルーロックス HW は、石灰系膨張材を基材とし、厳選されたセメント結合材、特殊混和材、重量骨材を配合した、非金属系重量無収縮モルタルです。



## 特長

1	重量モルタル	乾燥単位容積重量 (JASS 5N T-601) が 2.15kg/ℓ 以上 (試験値 = 約 2.3kg/ℓ) を確保できるため、原子力施設等の遮蔽用重量モルタルとして使用可能です。
2	非金属系	使用骨材等に金属系のものを含まないため、発錆することはありません。
3	プレミックス	プレミックスであるため、現場で複雑な計量作業を必要としません。
4	高流動性	重量モルタルにもかかわらず材料分離抵抗性に加え、流動性に優れるため間隙をスムーズに充てんします。
5	ノンブリーディング	充てん後の空隙処理が不要です。
6	無収縮性	無収縮性を有するため、充てん後の部材一体化がはかれます。
7	低発熱性	発熱量が小さいため、温度応力が抑えられます。
8	強度特性	短期から長期にわたり安定した強度特性を示します。

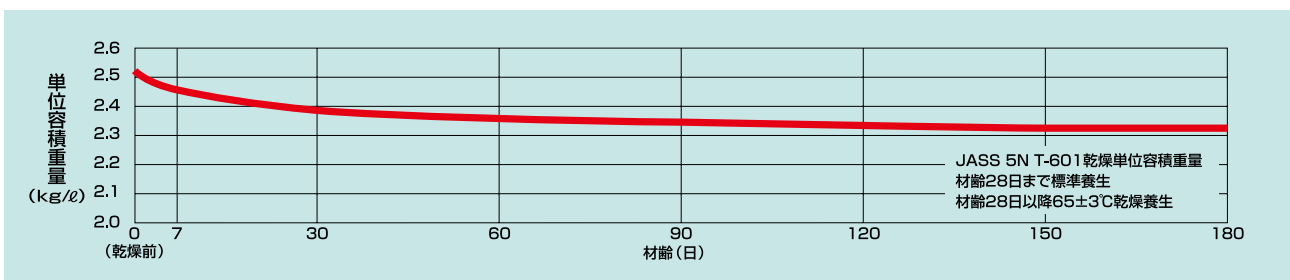
## 標準調 (配) 合

区分	使用温度範囲 (°C)	目標コンシステンシー J <sub>v4</sub> ロート流下値 (秒)	太平洋ブルーロックス HW (Kg)	練混ぜ水量 (Kg)	練上り量 (ℓ)
単位量 (kg/m <sup>3</sup> )	5 ~ 35	5 ~ 8	2209	292	1000
現場配合 (1 袋)			25 (1 袋)	3.30	約 11.3

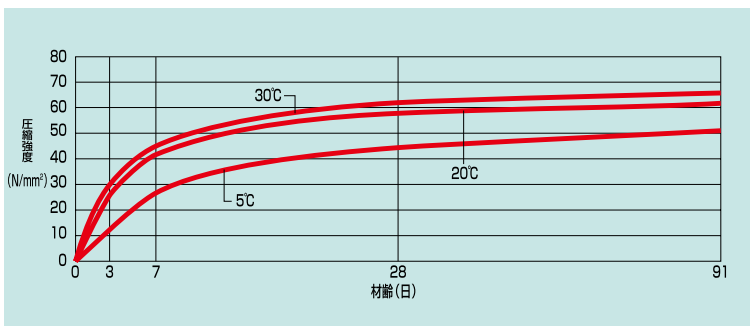
注1) 1m<sup>3</sup>あたりの太平洋ブルーロックスHWの必要量は約89袋です。

注2) 外気温度、材料温度等により目標とする流動性を得るための水量が若干増減しますので、事前に試験練りを行い、水量の確認を行って下さい。

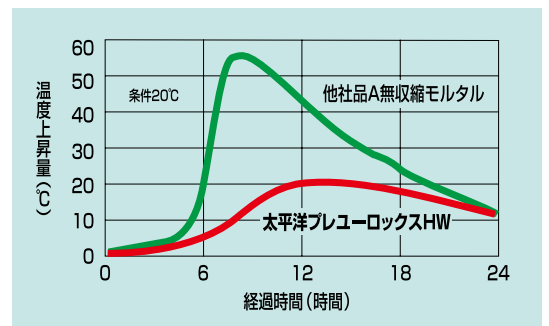
## 乾燥単位容積重量



## 材齢と圧縮強度の関係



## モルタル温度上昇量の経時変化



# 太平洋マテリアル株式会社

〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル15階 ☎03-5500-7512

URL <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

海外営業部	〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル15階	☎03-5500-7518
北海道支店	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎022-221-4511
北東北営業所	〒020-0832 岩手県盛岡市東見前1-33-2	☎019-639-1260
東京支社		
東京支店	〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル15階	☎03-5500-7531
関東支店	〒330-0843 埼玉県さいたま市大宮区吉敷町4-262-6 ニューセンチュリービル	☎048-614-8470
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎052-452-7141
北陸営業所	〒920-0919 石川県金沢市南町5-20 中屋三井ビルディング	☎076-234-1670
静岡営業所	〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川2-2-1 セクスイハイムビルディング8C	☎054-685-8333
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	☎06-7668-6001
中国支店	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	☎082-261-7191
四国支店	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎092-781-5331
長崎営業所	〒854-0014 長崎県諫早市東小路町11-1 塩塚ビル103号	☎0957-21-1290
鹿児島営業所	〒890-0052 鹿児島県鹿児島市上之園町24-2 第12川北ビルBOIS鹿児島	☎099-812-7131
沖縄営業所	〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地2-22-10 那覇第一生命ビルディング	☎098-867-9663

## 使用上の留意事項

- ①練混ぜ温度は、10～35℃（製品によっては5～35℃）の範囲として下さい。なお、夏場などで施工箇所が高温となる場合には、材料を出来るだけ気温の低いところに保管し、あらかじめ冷却した練混ぜ水を用い、モルタルの練上り温度がなるべく30℃以下になるようにして下さい。
- ②アルミ製羽根のハンドミキサーで練混ぜを行うと、アルミ部材が磨耗し、施工後モルタルが異常膨張することがありますので使用しないでください。
- ③充てん中は必ず充てん状況の確認をするとともに、充てん後は湿潤養生を行って下さい。
- ④高温時（30℃以上）には施工箇所に直接日光が当たらないように養生して下さい。
- ⑤硬化後、モルタル表面が露出する箇所や拘束条件が不十分な箇所においては、乾燥等によるひび割れが発生する場合がありますので、適切な養生を施して下さい。
- ⑥材料の保管には雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等を敷き床面から離れた状態でビニールシート等で覆って下さい。
- ⑦本カタログ記載外の用途に使用される場合は、ご使用者側にて調査検討の上、御不明な点は弊社まで御相談下さいませよう願致します。

## 安全上の注意事項

本製品はカタログに記載されている方法でご使用下さい。

- 本製品はセメントと同様にアルカリ性を示します。使用の際は、眼・鼻・皮膚・及び衣類に触れぬよう保護具（ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等）を着用の上でご使用下さい。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水で充分洗浄した後、医師の治療を受けて下さい。
- 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので、直ちに水洗いして下さい。
- 作業後は手洗い、うがいをして下さい。

- 本製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承願致します。
- 本カタログに記載された事項は、弊社の実験結果に基づくものでありますが、各種条件により実際の現場結果を確実に保証するものではありません。